

産業能率大学 経営学部

マネジメントの基礎	履修年次	1	
	単位	2	
中島 智人、川並 剛、小出 琢磨、杉田 一真、関 和之、都留 信行、本橋 潤子	配当期	後	
	授業方法	講義/対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>この授業では、会社(企業)におけるマネジメント(経営)について、前期で履修した「会社のしくみ」の内容をさらに掘り下げて理解する。「会社のしくみ」では、文字通り、会社のしくみにかかわる基本的な理解を行い、経営学に必要な基礎的な知識について学んだ。</p> <p>具体的には、企業における経営者の役割とマネジメントの機能を理解したうえで、マネジメントの基本となる「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」といった経営資源のそれぞれのマネジメントについて、企業での具体例にあてはめながら学んでいく。ここでは、「良い会社とは何か」ということを念頭に、その条件の変遷と多様なとらえ方を意識しつつ、現代の企業の取り組みを考えていく。さらに、国際化(グローバリゼーション)への対応や、企業が成長し続けるためのマネジメントについても理解する。この授業で得た企業のマネジメントにかかわる理解を基礎として、受講生が企業のさまざまな活動に興味を持ち、その意図や目的を主体的に考えるようになることを期待している。</p> <p>なお、授業外学習の指示・提出は manaba で行う。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業のマネジメントについて、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の観点から、その意図や理由を説明することができる。 ・経営戦略ツールやマーケティングツールを、実際の企業課題に対して応用し利用することができる。 ・ビジネスの最新の動きに注目しながら、企業のマネジメントの実際問題を企業の立場にたって説明することができる。 			
成績評価の方法			
定期試験と授業外学習では、マネジメントの基本概念の理解度とともに、学んだ知識で問題を発見、分析、解決するといった応用能力を確認する。出席は、授業に参加する意欲も評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	経営者の役割とマネジメント	8	カネのマネジメント(2):経営分析の基礎
2	さまざまなマネジメントツールの理解と活用	9	カネのマネジメントの応用
3	モノのマネジメント(1):製品のマネジメント	10	ヒトのマネジメント(1):人的資源管理
4	モノのマネジメント(2):生産のマネジメント	11	ヒトのマネジメント(2):モチベーションとリーダーシップ
5	モノのマネジメント(3):販売のマネジメント	12	ヒトのマネジメントの応用
6	モノのマネジメントの応用	13	情報のマネジメント:企業と情報
7	カネのマネジメント(1):資金のマネジメント	14	グローバリゼーションと国際化のマネジメント